

## NPO法人「農家のこせがれネットワーク」様

NPO法人「農家のこせがれネットワーク」は、都内二箇所でマルシェを運営を行っている。少人数で運営しているため、事務局長を務める藤井貴之さんは早くから業務効率の向上を目的にさまざまなITツールを試してきたと言う。今回は、藤井さんが請求管理クラウド「MakeLeaps」を導入するに至った経緯からどのように利用しているのかを伺いました。



## 導入前と比べて請求管理、郵送業務が3分の1まで削減できました！

農業をおもしろくする世代。



### 組織概要

会社名	特定非営利活動法人 農家のこせがれネットワーク
URL	<a href="http://kosegare.net/">http://kosegare.net/</a>
所在地	東京都中央区築地4丁目7-3 築地ファーストビル4階
事業内容	帰農・就農支援活動、マルシェ運営

Before

請求書の作成と  
郵送作業が煩雑だった

After

全ての作業が  
3分の1の時間で  
終わるようになった

### 1 請求書の作成、郵送の煩雑さが大幅に削減できました

請求書の作成、郵送業務の工数を削減したいと思い、MakeLeapsの導入を決めました。私たちNPO法人「農家のこせがれネットワーク」は都内二箇所でマルシェを運営しています。マルシェへ出店するこせがれの方には出店料をいただいておりますが、私たちは出店料を固定ではなく売上げによって変動する仕組みにして、出店しやすいようにしています。

そのため、出店料をマルシェ終了後に計算し、請求していたため、毎月、月末月初は請求書の発行や入金確認に追われてしまい、マルシェの運営も一緒に行っているととても手に負えませんでした。こうした悩みを解決に導いてくれたのがMakeLeapsでした。MakeLeapsに出店者連絡先を「クライアント」として作成し、請求項目や金額を入力すれば、ワンクリックで請求書の郵送までを自動化できます。

実質は二人で切り盛りしているため、一人の作業範囲が広いです。外出が多い私たちにとってMakeLeapsがクラウドサービスだったことも嬉しい要素でした。導入前は、じっくり腰を据えて表計算ソフトと向き合わなければいけなかったのですが、MakeLeapsを使い始めてからは移動中などの隙間時間に確認や編集ができますし、途中から作業を受け渡すことや遠隔地から同時に編集することも可能になりました。

### 2 環境や用途に合わせた柔軟性が魅力

MakeLeapsは期待通りの機能が随時追加されるので、より自社にあったシステムに進化しているように感じています。例えば、同じような請求書を定型パターンとして登録できる機能が追加されたので、毎月の請求書発行がより楽になりました。導入以前と比べ、請求管理業務は1/3まで削減できました。また、消費税の計算方法を小数点は切り捨てで設定できるようにして欲しいとサポート窓口に要望を出したところ、使っていくうちに機能として追加されていました。

しかし、導入の決め手となった一番の理由は、MakeLeapsが請求業務に特化したサービスだったことです。私たちのようなNPO法人は収益部門と非収益部門で別々に計算をしないとけません。一般法人とは異なるため、組織の業績周りはNPO法人向けの専用会計ソフトウェアを利用しています。MakeLeapsは、請求書の作成、郵送や入金の確認、クライアント管理など、私たちが必要とする機能だけを利用することができたことが魅力でした。

出店者数は100を超え、それに加えて都内二箇所のマルシェを二人で運営している中で、請求業務の負担を軽減してくれるシステムを探求していました。また、NPO法人専用の会計ソフトを使っている私たちにとって、請求業務に必要な機能を切り出して使えるMakeLeapsは最良のパートナーでした。今後も業務効率を高め、ひとりでも多くのこせがれを支援していきたいと考えています。



### 藤井 貴之

1980年生まれ。Web人材広告営業、Web制作・広告企業での経理を経て、2010年より現職。昨年より農家のこせがれの帰農をサポートする仕組みである「こせがれはじめの一步」プロジェクトリーダーを担当する。前職での経験を活かし、ライフプランなどを中心にファイナンシャルの相談を受けている。

### 導入についてのお問い合わせ

MakeLeapsの担当者へのご連絡をご希望の方は、お電話またはメールよりお問い合わせください。  
03-4550-1548 / [contact@makeleaps.com](mailto:contact@makeleaps.com) [平日9:00-18:00, 土日祝休]